

No.	カテゴリ	説明	対処内容
1	生成AI連携	「05_生成AI連携」配下のサブシナリオの使用を制限できるようにしたい。	設定ファイルに生成AI連携サブシナリオを含む下記機能の使用を制限する項目を追加しました。 ・雛形・データ抽出(生成AI利用) ・新規作成(生成AI利用) ・AIヘルプ機能 ・ユーザ独自ライブラリのPython化支援機能 ・生成AI連携サブシナリオ ・「外部サービス連携」画面-[生成AI] ・「オプション」画面-「AI連携ライセンスサーバ」タブ ・「設定エクスポート」画面 └「AI連携ライセンスサーバ」 └「生成AI」
2	サブシナリオ/生成AI連携	「05_生成AI連携¥チャット応答取得(OpenAI)」サブシナリオで「(省略可)」の記載があるパラメータの未設定時の挙動がパラメータによって異なる。	「値⇒」、または、値が設定されていないWinActor変数を指定した際に、デフォルトの値を採用するよう統一しました。
3	GUI	シナリオファイル名が長い場合、タブ上にはファイル名の後半部分のみが表示されるため、ファイル名の違いを判別しづらいことがある。	シナリオタブ上にマウスカーソルを重ねた際に、シナリオファイルのフルパスを表示するよう修正しました。 これにより、長いファイル名の場合でも対象のシナリオを判別しやすくなります。
4	外部サービス連携 (Microsoft Graph)	Microsoft Graph 連携において、WinActor を終了すると取得したトークンが破棄されるため、再起動のたびに再認証が必要になる。 また、トークンの有効期限切れ時に自動で更新されない。	トークン情報を保持し、WinActor 再起動後も再認証不要で利用できるようにしました。 また、トークンの有効期限が切れた場合に自動で更新されるように改善しました。